

ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための2
021年度政府予算に係る意見書

学校現場は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策としての3月の全国一斉臨時休業要請や4月の緊急事態宣言などによる長期臨時休業に続き、6月からの学校再開、夏季休業期間の大幅な短縮等への対応により、これまで経験したことのないような子供たちの学習支援、心のケア、感染症対策、熱中症対策、そして教育課程の再編成などに懸命に取り組んできた。

しかしながら、学校現場には新学習指導要領の全面実施やいじめ・不登校・SNSトラブルなど、取り組むべき課題が既に山積しているため、子供たちのゆたかな学びを実現するための教材研究や、授業準備の時間を確保することや一人一人の子供とゆとりを持ってじっくり向き合うことが非常に困難な状況となっている。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が今なお続き、その終息が見通せない状況にある中、子供たちのゆたかな学びを実現し、一人一人に寄り添ったきめ細やかな指導を進めるために、少人数学級の着実な推進は必要不可欠である。

よって、政府におかれては、子供たちのゆたかな学びをより一層強力に推進するため、2021年度政府予算編成において下記事項に取り組みられるよう強く要望する。

記

- 1 子供たちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。具体的には、新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない状況が続く中、新学習指導要領の全面実施も踏まえ、少人数学級の着実な推進をはかること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年12月22日

兵庫県明石市議会